



大石北小だより

大石北小学校ホームページは

こちらから →



学校教育目標 **ともに学び 明日をつくる**

学 校 通 信 1月号

令和8年1月8日発行

発行責任者 校長 瀧沢葉子



う ま く い く ど う ぞ し あ わ せ に



校長 瀧沢 葉子

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先月、くすのきコンサートと北小まつりがありました。くすのきコンサートは、学年で心を合わせた合唱が体育館に響き、趣向をこらした演出もありました。練習を重ねてきた成果が発揮され、聞いてくださった保護者・地域の皆様にも楽しんでいただけたものと存じます。

北小まつりは、保護者と地域の皆様からなる実行委員会主催で実施されました。北小まつり実行委員ジュニアも活躍し、子どもも大人も笑顔が広がるすばらしい時間になりました。改めて保護者・地域の皆様とともに子どもたちを育てている幸せを実感しました。実行委員の皆様の献身的な御尽力に心から感謝申し上げます。

3学期が始まります。寒い時期や長期休業明けは「あいさつの声が小さい現象」が表れます。あいさつコミュニケーションは、社会の一員としての第一歩です。大石北小の児童には、気持ちのよいあいさつをする習慣を身に付けてほしいと願います。「相手に伝わる声の大きさで」「相手に顔を向けて」あいさつをすることを御家庭でも行い、声をかけてください。

今年も元気なあいさつで、「うまくいく一年」をスタートします。どうぞよろしくお願いいたします。



冬休み明け 児童の声を聞き、気持ちを切り替える声がけを



新学期、児童が学校に行き渋りをする場合があります。まずは児童の話をじっくり聞いてください。その上で、共感的に聞きながらも、児童の考えを前向きに切り替えられるような言葉がけが大切です。人とのかかわり、時間で動くことなど、教科の学習以外の社会生活の大切なことも学んでいけるのが学校のよいところです。

学校では、御家庭とともに元気に学校へ通えるよう支援に努めてまいります。御心配なことがあれば、遠慮なく御相談ください。

「大石スマイル作戦」に取り組みます

12月26日「上尾市いじめ防止子供サミット」が開催され、代表児童2名が参加し、本校の取組を堂々と発表しました。また、大石中学校区3校での新たな取組を話し合いました。「おいしい(0014)」ということで、毎月14日を「大石スマイルデー」とし、3校がいじめ防止の取組を行ったり、「大石スマイル運動」であいさつに取り組んだり…と児童生徒が主体的にいじめ防止に取り組んでいくことが決まりました。

学校・家庭・地域が一体となり、児童一人一人の人権意識を高め、自他を尊重する気持ちを育めるよう、今後も引き続き御協力をお願いします。

年末年始は家族での時間を過ごすなど、普段できないことが1つでもできたでしょうか。さて、新しい年になりました。今年の目標は立てましたか？1人1人がなりたい自分を目指して、勉強に運動にみんなで取り組みましょう！

1月 January の行事予定

日	曜	日	行事等
日	曜	課	
1	木		元日 
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		
8	木	B	3時間(全)11:35下校 3学期始業式
9	金	B	4時間(全)13:20下校 給食開始
10	土		親父の会ビオトープ保全活動8:30~
11	日		
12	月		成人の日
13	火	A	5時間(全)14:30 身体測定1・6・ひ 通学班指導・一斉下校 <u>口座振替日</u>
14	水	C	身体測定2・5 フレンドリータイム 委員会 にこにこ相談日
15	木	A	月曜時間割 身体測定3・4 さわやか相談員来校
16	金	B	
17	土		上尾市特別支援学級・県立特別支援学校 「児童生徒合同作品展」 中央小学校
18	日		
19	月	B	フッ化物洗口
20	火	A	6年社会見学 3年CBT体験 <u>口座再振替日</u>
21	水	C	感謝の集い クラブ にこにこ相談日
22	木	A	2年英語活動公開
23	金	A	1年英語活動公開 
24	土		
25	日		
26	月	B	フッ化物洗口 芸術鑑賞会
27	火	A	1年アニメーション SC来校
28	水	C	全校集会 3~6年クラブ発表会 にこにこ相談日
29	木	A	新入学保護者説明会 
30	金	B	4時間(全)13:20下校 家庭読書の日・北小安全の日
31	土		

2月 February の行事予定

日	曜	日	行事等
日	曜	課	
1	日		
2	月	B	フッ化物洗口 5・6年スマ・ネット教室 1年昔遊び交流会(学校応援団)
3	火	A	ひ おわかれ交流会
4	水	C	フレンドリータイム 委員会 にこにこ相談日
5	木	A	避難訓練
6	金	A	
7	土		
8	日		
9	月	B	5時間(全)14:05下校 フッ化物洗口
10	火	A	6年中学校訪問 <u>口座振替日</u> にこにこ相談日
11	水		建国記念の日
12	木	A	3年社会科見学 さわやか相談員来校
13	金	A	1年幼保小交流会 2・4年授業参観・懇談会
14	土		
15	日		
16	月	B	フッ化物洗口
17	火	A	6年授業参観・懇談会
18	水	C	月曜時間割 音楽集会 クラブ(決定日) 第4回学校運営協議会 にこにこ相談日
19	木	A	3・5年授業参観・懇談会
20	金	A	1・ひ授業参観・懇談会 <u>口座再振替日</u>
21	土		
22	日		
23	月		天皇誕生日
24	火	B	SC来校
25	水	C	全校集会 委員会 にこにこ相談日
26	木	A	6年大石中出前授業
27	金	B	4時間(全)13:20下校 家庭読書の日・北小安全の日
28	土		

※行事等は、現段階での予定です。
変更になる場合もございます。

大石北小学校交通事故ゼロを目指して

「自分の命は自分で守る」自転車乗車時には、ヘルメットの着用を！

活気あふれる北小図書室

学校運営協議会委員 上東 初枝



月日が過ぎるのは早いもので、今年度も残すところあと3か月弱となりました。大石北小図書室では、毎週水曜日に図書のボランティアさんたちが、図書室の先生のもとで本の整理や修理、季節ごとの展示物の作成などを行っています。私もその仲間の一人として参加させていただいています。

図書室で作業をしていますと、学年ごとにクラス単位で、本を借りに来る子どもたちの様々な様子を垣間見ることができます。

まずは最近購入された新刊本の棚をチェックしたり、シリーズものの続きの号を確保したり、友達が返却した人気の本をすかさずゲットしたり、貸出冊数は一度に2冊という制限の中で、それぞれが色々工夫しながら選んでいるようです。

また、図書室の先生のアイデアで「本から見つけたすてきな言葉」と題し、読後に心に残った言葉を記入することのできる用紙が用意され、子どもたちが本から感動を受けたたくさんの素敵な言葉がファイルされています。

授業の課題として、あるいは夏休みの宿題のように読書感想文を原稿用紙いっぱいを書くのも良い経験になりますが、読書後にちょっとメモする感覚で、そんな言葉を書き残すことが習慣になったとしたら、その一冊一冊がより強く記憶に残っていくことでしょう。

一学期から二学期には、各クラスの先生方おすすめの児童書の紹介があり、二学期後半からは「54字の物語」（54文字ぴったりの文字数で書かれた物語）をつくるという企画もあり、校長先生も率先して参加してくださり、子どもたちのやる気をそそってくださっています。

三学期には、「北小の大ピンチ図かんつくろう!」というテーマで既に動き出しています。どんなたくさんの大ピンチが子どもたちの手によって描かれていくかとても楽しみです。来校の際は気軽に、二階の端にある図書室に立ち寄ってぜひご覧になってみてください。

御家庭でも特に低学年のうちは、子どもの借りてきた本に関心を寄せて、親しみ、興味を共有し、日々の話題に上るようになるといいなと思っています。



地域活動のススメ

学校運営協議会委員 竹村 健一



『ピンポン』とチャイムが鳴った。2000年のちょうど今頃、年の瀬迫る12月だったと思う。井戸木地区に居を構えたばかり。

制服を着た男性が立っていた。見慣れない男、と思ったが、思い出した。よく見ると中学時代の同級生だ。『今年、井戸木自警消防団の団長なんだ。新団員勧誘で、新築を見つけて回って声かけているんだよ。』彼は言う。学生時代どちらかと言ういわゆる「不良」で役員など引き受けないタイプだった彼が地域の為に活動している事への感動と、妻が制服フェチで団の制服をいたく気に入ったことで、入団。これが私の地域活動の出発点、原点となった。

団の先輩方はクセが強くて面白い方ばかり、楽しかった。放水訓練やポンプ操法、人生で経験したことの無い活動内容が興味深かったし、ましてや火災出動して交通整備など、やりがいもあった。でも何より、生活環境も職種も全く違う団員各位と交流すること自体が面白かった。だから何だかんだ現在も続けていて、数年前勤続20年の表彰もいただいた。

消防団活動に端を発して(?)、地域・その他の活動に興味を持ち、PTA本部・親父の会・井戸木子ども会・学校運営協議会・学校応援団事務局から井戸木自治会副会長まで様々な活動に参加をし、今でも色々続けている。それもこれも、最初の『自警消防団』が楽しかったからに他ならない。地域活動のきっかけは何でもいいと思うんです。とりあえずやってみる。続けられなければ辞めればいい、そんな気持ちでこれまでやってきました。『好きだからやってるんでしょ』と言われると、なんだか『むっ!』という気持ちになるが、でも、どの活動も楽しんでやるようにはしているし、実際楽しかった。楽しめれば続けられるし、どうすればみんなの為になるか考えるゆとりも出来る。そんな感じのスタンスでこれからもやっていく所存です。

どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

竹村健一 55歳。

